

十勝管内 更別村立更別中央中学校

1 学習活動の概要

「ウポポイ」施設内の国立アイヌ民族博物館における調査活動を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等について理解を深めるとともに、先住民族の尊厳を守ったり、多様性を前提とする差別のない社会を築いたりするなど、人権を尊重し平和を愛する心を育む教育活動を行いました。

2 取組の様子

(1) 事前の学習

社会科の学習において、書籍やインターネットを活用したアイヌ民族についての調べ学習を通して、アイヌの人たちの歴史・文化等について理解を深めました。

(2) 体験活動

「ウポポイ」における基本展示室やシアター等を活用した調査活動を通して、アイヌの人たちの言葉、生活の様子、歴史、文化等への理解を一層深めました。

(3) 事後の学習

調査活動で学んだことをまとめ、「修学旅行報告会」における発表を通して、アイヌの人たちへの興味・関心を高め、先住民族を尊重することの大切さを学びました。

また、このような一連の学習活動を通して、社会科で学習した「国際連合における世界平和への取組」及び総合的な学習の時間で学んでいる「国内及び国家間の格差をなくす」というSDGsの取組への理解を深め、今後の国際社会に向けて「自分ができること」を考え、協力していこうとする態度が育まれました。



【ICTを活用した事前調査活動】



【展示物の調査活動】



【修学旅行報告会】

3 生徒の感想等

- ・「ウポポイ」の展示室「いぎないの回廊」は、アイヌの人たちが描いた木や動物の絵が美しく、自然を大切にする思いが伝わってきました。自然と人がとけ込む素敵な場所でした。
- ・アイヌの人たちの歴史や文化を大画面で鑑賞することができ、今まで知らなかったことを知ることができて感激しました。世界中にアイヌ民族資料が展示されており、海外の人たちが日本人以上にアイヌの人たちの文化について知っていることに驚きました。
- ・ユネスコ無形文化遺産に登録されているアイヌの人たちの踊りを見て、荘厳で穏やかな感じがしました。人や動物、自然を大切にする気持ちを踊りに込めて伝統を伝え続ける凄さや迫力を肌で感じることができました。
- ・私はアイヌ語について興味がありました。日本語とは文法が異なることや、樺太や千島の言葉の影響があることを、もっと勉強してみたいと思いました。